

東北大学機関リポジトリシンポジウム

機関リポジトリに期待するもの

平成18年12月15日(金)

13時30分～15時30分

東北大学片平さくらホール

(片平キャンパス:仙台市青葉区片平2-1-1)



東北大学医学系研究科
分子薬理学分野教授 柳澤輝行

<http://www.pharmacology.med.tohoku.ac.jp/>

TOHOKU
UNIVERSITY

学術雑誌出版の構造変化

2つのLから3つのLへ

学術出版社と機関図書館

学術コミュニケーションと知的財産の保存

Link

Laboratory

Library



TOHOKU
UNIVERSITY

研究成果の生産

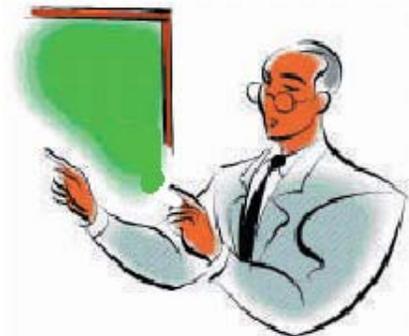
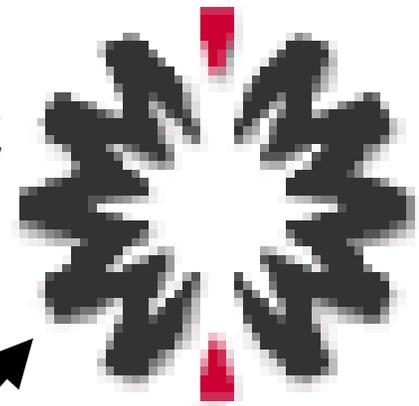
知的生産物の入手・保存・提供

学術雑誌出版の構造変化

- 電子出版技術とユビキタス・ネットワーキング
 - 研究へのより幅広いアクセス
 - より安定したデジタル・プレゼンテーション
 - 学術文献の電子的長期保存に誰が責任を持つのか
- 研究の全体量の著しい増加
 - 印刷出版形態の容量
 - 多くの研究者が大量の研究文献にアクセス不可
 - 印刷出版に内在する待ち時間
- 印刷体雑誌と電子ジャーナルの価格・市場
 - 急騰する価格
 - 相対的に伸びない図書館予算

機関リポジトリ

SPARC



学内・外研究者

電子的形態で
蓄積・保存・発信

ネットワーク



学生・卒業生
一般利用者

登録

学術機関リポジリー

登録支援

システム運用管理



附属図書館・
情報シナジーセンター

- 学術研究成果
(コンテンツ)
- ・ 学術論文
- ・ 学位論文
- ・ 紀要掲載論文
- ・ 図書、図書の一部
- ・ プレプリント
- ・ 会議録
- ・ 科研費報告書
- ・ テクニカルペーパー
- ・ 学会発表資料
- ・ 授業用教材 など

学術コミュニケーションの4構成要素

- **登録**: あるアイデア、概念、あるいは研究成果の知的優先権を確定する。
- **認定**: 研究の質、発見の価値を認定する。
- **報知**: 研究成果の伝達とアクセス可能性を確保し、研究者たちが新しい研究成果を認識できるような手段を提供する。
- **記録保管、アーカイビング**: 将来の利用に備えて知的遺産を保存する。

access, cost, quality

学術機関リポジトリのシステム機能

- 寄託（投稿）受理機能（コンテンツ寄託受理）
- 管理機能（メタデータの付与、コンテンツのフォーマットの変換）
- 保存機能（コンテンツ保存、長期的利用の保証）
- 検索機能（サーチ機能・閲覧機能の提供）
- 相互運用性（複数のリポジトリ間の相互運用性を確立するための機能）
- 収蔵品のリスト、画像等の掘り起こし・提供

公式な査読誌と非公式なりポジトリとの用語区別

- 公式な査読誌への寄与
 - 「投稿(submit)」
 - 「出版 (publish)」
- 教員のリポジトリへの寄与
 - 「参加 (participate)」
 - 「寄託(deposit)」、「寄与 (contribute)」
 - 「提出 (post)」

図書館の寄託プロセスと管理

- ドキュメントのデジタル・フォーマット変換。
- メタデータや件名をつけること、見直すこと。
- 著作権と知的所有権の問題に関する情報の教員への提供。
- 自己アーカイビングself-archivingについて出版社の方針・情報を提供し、教員に代わって個々の出版社と交渉すること。
- 品質管理およびリポジトリへのデータ取り込みに関するシステム運用管理。

リポジトリ拡大・充実のために

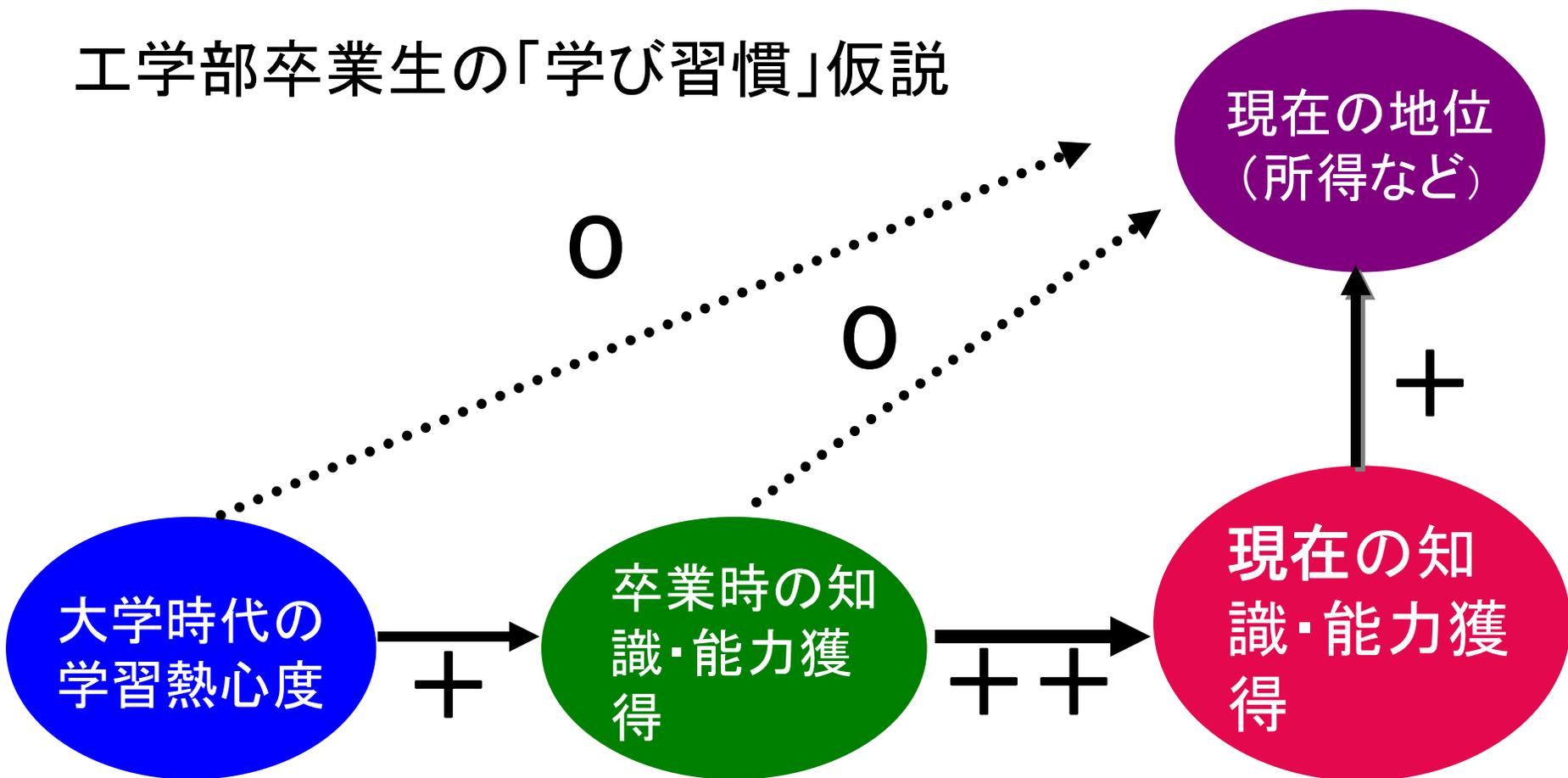
- eプリント・サーバは、数学や物理学などのプレ出版の伝統を有する分野で成功を収めてきた。
- 研究成果を配信する慣習の進化は、それぞれの学問分野のコミュニティの内側から生まれてくるものである。
- 学術機関リポジトリは、そこに参加したくなる柔軟性と自立性を提供することにより、大学のさまざまな分野のサブカルチャーに適応して、拡大・充実して欲しい。

期待するもの 知的財産の蓄積と公開

- 学生・卒業生、そして一般人の成長を助けるものであって欲しい。
- 学術論文とその付録、付随データ。
- 論文にしにくいデータ。
＜この世にない‘Journal of Negative Data’のような＞
- 臨床医がどのように育つのかの手記。
–（思い出の症例 「教室員会だより」）

「職業的意義」と「学び習慣」仮説

工学部卒業生の「学び習慣」仮説



参考資料等

- SPARC: The Scholarly Publishing & Academic Resources Coalition, www.arl.org/sparc
by Raym Crow, SPARC Senior Consultant
- 日本語試訳: 千葉大学附属図書館IR ワーキンググループ(平成15年3月)
- http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/about/dlnext_IR.pdf
- 東京大学学術機関リポジトリ
- **The Tohoku Journal of Experimental Medicine (TJEM)** <http://journal.med.tohoku.ac.jp/>